

【全年次】

新たに農業を志す人に対し、必要な知識や技術の習得と就農を支援する学校です 県立かながわ農業アカデミー

21 世紀を担う農業者を育成するため、高度な専門知識と技術、ならびに幅広い視野と人間性を持った明日の農業を担う優れた人材の育成をめざし、実践的な教育を行う「県立かながわ農業アカデミー」（海老名市）があります。

昭和 18 年に食糧増産のための「神奈川県立修練農場」として発足しました。その後、再編や統合を経て、平成 26 年に「神奈川県立かながわ農業アカデミー」となり、現在に至ります。



1 卒業生の就農・就職の状況

農家に就職することや、農業に転職することを「就農」といいます。校内の就農支援班により農業への新規参入に向けたお手伝いをしています。また、農業法人等への就職（就職就農）についても情報を提供しています。他にも農業資材店、生花店、園芸市場、造園業者、種苗会社等の農業関連会社への実績があります。

専門学校や短大とは異なり、修了後に大学への編入等はできませんが、生産技術科は、卒業時に短大 2 年卒相当の資格が与えられます。これは国の人事院規則によるもので、国や都道府県の採用試験を受験する場合に認められます。また、農業関係の団体、企業等への就職についても、多くの場合、短大卒相当と見なされます。

2 設置学科と必要な費用

修業期間 2 年間の「生産技術科」と、修業期間 1 年間の「技術専修科」があります。

野菜、花き、果樹の 3 専攻コースでの農作業実習と、作物の栽培などに関する講義・演習を通じて、農業経営に必要な技術・知識を習得します。農業系の大学や短大に比べ、実習を重視したカリキュラムが特徴です。必要な費用は生産技術科で約 45 万円（2 年間の金額）、技術専修科は約 27 万円（1 年間の金額）かかります。この他に、給食費（全学生）、学生寮光熱水費（入寮生）が毎月かかります。

3 学生寮

希望により学生寮に入寮することができます。(ただし、生産技術科の学生が優先)

部屋はエアコン完備の個室です。経営当番(休みの日に自分の専攻コースの作物の管理作業等をする当番)以外の学生は、土曜・日曜日、祝祭日、夏・冬・春休みは自宅に帰ります。共同利用の設備として食堂、浴室、ロビー、談話室、洗濯室(洗濯機、乾燥機)を完備しています。また、時間帯や曜日により学生寮指導員が在寮しています。

4 まずは学校を見に行こう!「秋のまつり」

■ 令和元年11月3日(日) 9:00~13:00 かながわ農業アカデミー秋のまつり

農業に興味のある生徒は、「秋のまつり」に参加してみましょ。新鮮な農畜産物の販売、イモ堀り、模擬店、ミニ動物園など、イベントが盛りだくさんです。

5 詳しく学校を知ろう!「学校説明会」※申し込み不要

■ 令和元年12月7日(土) 13:30~15:30 第4回学校説明会(最終回)

「かながわ農業アカデミー」に関心のある生徒は学校説明会に参加ましょ。教育内容・特色、学校生活、寮生活、卒業後の進路、令和2年度入校試験や応募方法について説明があり、校内見学もできます。

6 アクセス

海老名駅(小田急線・JR相模線・相鉄線)

相鉄バス約20分

① 2番乗り場

綾31系統「ナイロン経由農大前行き」

② 3番乗り場

綾23系統「下浜田経由農大前行き」

〔①・②は終点「農大前」下車 徒歩1分〕

③ 3番乗り場

綾22系統「下浜田経由ハマキョウレックス行き」

「農大入口」下車 徒歩5分

【学校所在地】海老名市杉久保北5-1-1 【電話】046-238-5274



「ふりがな」つきは裏面へ